

購読者からの紹介していただいた教材「デコレーションライトを使った星座のモデル」

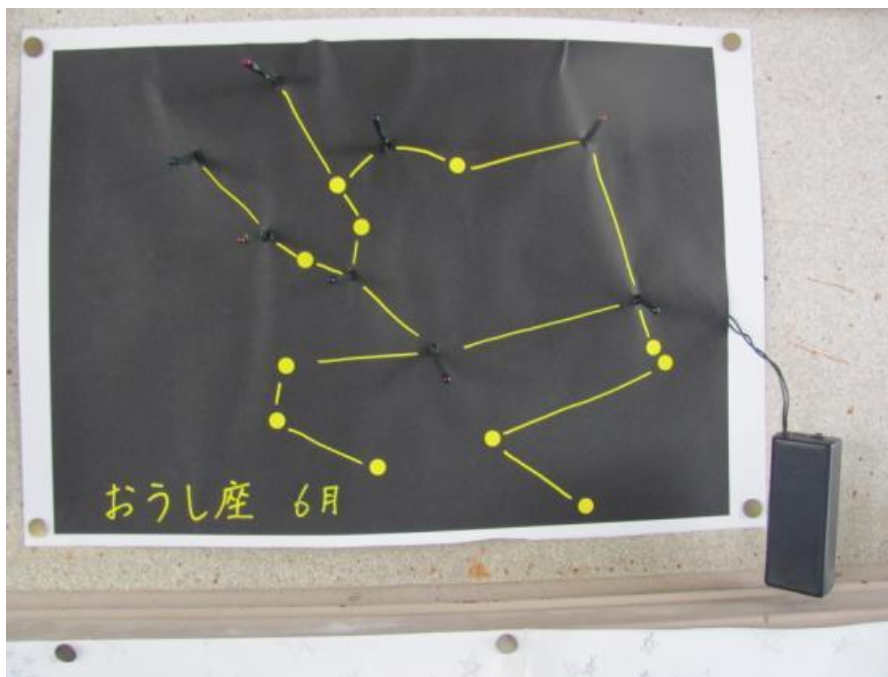
こういった先生の実践は児童生徒にとってとてもうれしいものです。

この教材の素晴らしい点は、天体という児童生徒がイメージしにくい領域で、教室に掲示することで、児童生徒が身近に感じることができる教材であること、そして、100円ショップの素材を使うことで教材作成が比較的簡単にできる所です。こういったアイデアは、忙しい現場の先生方にとって素晴らしい情報だと思います。

このデコレーションライトは、クリスマスシーズンに100円ショップによく置いています。

ちなみに、2月にも置いていましたので、探してみてください。電池ボックスと8個のLEDがついて100円は、コストパフォーマンスが高いと思います。先日紹介した導電電極にも使えますので、今度作ってみます。

小学校理科では、はくちょう座などの代表的な季節の星座を作って理科室前に掲示したり、授業で光らせると、低学年の児童がよくさわっていたそうです。また、中学校理科では、黄道12星座を作って、年周運動の理解などにつなげているそうです。中学3年生も、光ると喜ぶそうです。この教材の作り方は黒画用紙に星座図を写し、明るさの明るいものはライトを使い、暗いものはシールや蛍光色のポスカで描いて、裏に厚紙を貼って作ったそうです。改良していただけると、よりありがたいですとのことでした。



紹介していただいたデコレーションライトを使った星座のモデル

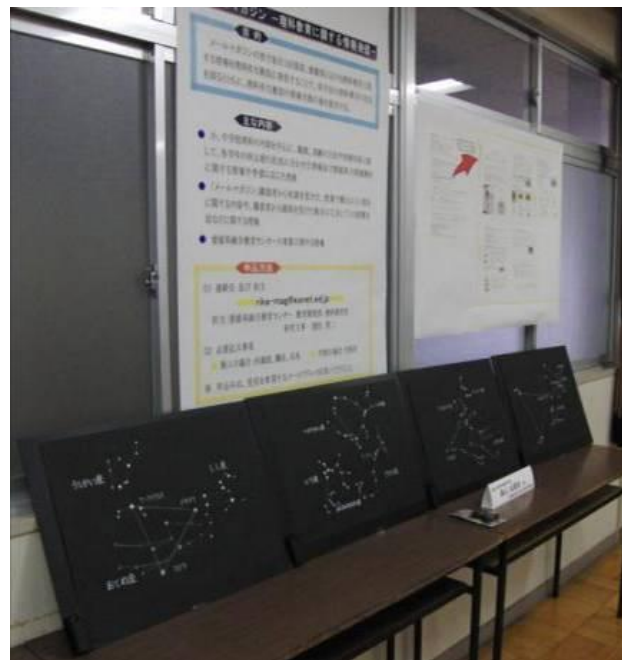


本教材で使用したデコレーションライト（電池ボックス付）

「改良していただけると、よりありがたいです」とのことでしたので、今回ご紹介いただいたアイデアをもとに、センターの所員（村上浩二所員と村上圭司所員）が作成したものを2月17日の教育センターの調査研究発表会で、メールマガジンの紹介とともに展示させていただきました。

変更した所は、紹介いただいた点滅麦球タイプのデコレーションライトを探していたときに、常灯LEDタイプのものを見つけたのでそれに変更（2月でも100円ショップにありました。）

また、黒のプラスチック段ボールに黒画用紙を貼り、白のポスターカラーで星座をかき、プラ段の裏から少しだけLEDの頭を出してテープで止めました。LEDなので単3乾電池2本でも長時間使用できます。



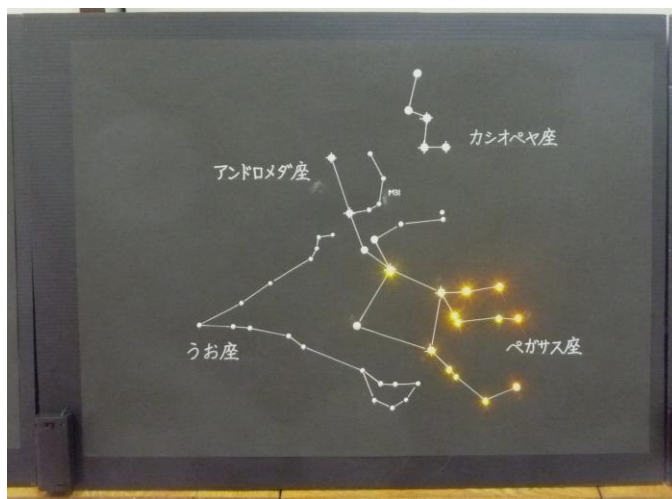
教育センターの調査研究発表会での紹介



春の星座



夏の星座



秋の星座



冬の星座